

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	サポートセンター空（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月15 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	2026年 2月 16日		2026年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語療法、作業療法の専門職が必要に応じて支援にあたっています。個別指導のみならず、集団の場面や各種相談にも対応しています。	業務効率の改善（ICT）を推進しています。連絡帳アプリや記録システム、請求システムなどを導入し、ご利用者やご家族に対応できる時間を確保するように努めています。	人材育成について、学びの機会を増やしていきます。オンライン研修など積極的に活用します。
2	敷地が広く、ブランコや滑り台、ボール遊びまで出来る園庭があります。室内も広く、幅広い活動が可能です。周囲には学校や公園があり、地域との交流も盛んです。	支援内容の充実を図っています。専門指導の他にも、体をたくさん使う活動、手先の活動、食事やトイレなど身辺自立に向けた活動など総合的な支援内容となっています。また、外出の機会も設け、買い物体験などを通して、生活場面での向上を意識しています。	家族支援の重要度が増しているため、相談支援専門員や行政の担当窓口とさらに連携を図る考えです。
3	児童発達支援と放課後等サービスの多機能型です。特に就学前後の支援に力を入れています。保育、教育、医療、行政など積極的に連携を図っています。	利用児を多角的にみることを意識しています。利用中の様子だけでなく、家庭や園での様子も考慮しています。その為にご家族や関係機関と積極的にコミュニケーションをとっています。	職員の働きやすさは支援に直結しますので、職員の声も可能な限り反映していきたいと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信が不足している。	支援に関わる作業量が多く、時間の確保が難しい。	時間の使い方を工夫して、ブログを中心に情報発信を強化していく。
2	ご家族向けの支援の機会を、充実させたい。	支援に関わる作業量が多く、時間の確保が難しい。	ご家族の都合や希望も様々ですので、規模は小さくとも年間を通じて、交流の場、相談の場、学びの場を継続できるように企画していきたいと考えています。
3		支援に関わる作業量が多く、時間の確保が難しい。地域に交流の機会そのものが乏しい。	地域の方との交流は重要であると考えますが、日々の支援の中で無理なく行える範囲でないと、職員利用者に負担が掛かります。大きな行事に限らず、例えばお散歩中の挨拶など、日常的な交流が図れるように工夫していく考えです。